

会 報

創立65周年（改組25周年）記念講演会

本会の創立65周年（改組25周年）を記念して、去る11月2日千里阪急ホテル（豊中市新千里東町2-1-D1）において授賞式、記念講演会および懇親会を開催した。

第1部授賞式は、岡田会長の挨拶の後、大嶋泰治委員から齊藤賞の今中忠行氏、戸田 清委員から照井賞の南波 章氏および岡田弘輔委員から醸酵工学賞の故田口久治氏について授賞選考経過報告ならびに業績について報告があり、受賞者にそれぞれ賞状、賞牌、副賞（金一封）が贈呈された。また、事務局の黒木猛熊

氏および吉井富美子氏に永年勤続の賞状および副賞（金一封）が贈呈された。

第2部記念講演会は、醸酵工学の隣接領域の展望をテーマに高松武一郎氏（京大，工），大塚栄子氏（北大，薬），服部幸輝氏（阪大，蛋白研），吉川 寛氏（阪大，医）および岡田善雄氏（阪大，細胞工学センター）の講演が行なわれた。

第3部の懇親会は、午後6時から同所のクリスタルホールで180余名参加して盛大に行なわれた。



左から 岡田会長、中尾副会長、今中忠行氏、南波 章氏、田口ヨシ子氏（故田口久治氏夫人）、戸田副会長

昭和62年度 日本醸酵工学会大会

昭和62年度大会は、去る11月3日から5日までの3日間、大阪大学工学部（吹田市山田丘2-1）において開催された。会場は第1会場から第6会場にわかれて341題の研究発表が行なわれた。すなわち動植物細胞培養、酵素および酵素工学、微生物、微生物代謝・生理、醸酵生産、生物化学工学、廃液処理、醸造および英語セッションの一般講演と遺伝子操作を利用した蛋白質機能の改変と応用、バイオテクノロジーにおける膜利用、リパーゼの生産、醸造上有用な生物機能の開発・利用の各シンポジウムならびにバイオインダストリー協会との石油醸酵講演会とアミノ酸・核酸、微生物株保存連盟との Bergey's Manual of Systematic

Bacteriology 第2巻—Gram-Positive 桿菌・球菌の発刊—その解釈と影響についての講演会ならびにシンポジウムを共催した。

また、昨年に続いて開催した技術解説は、メーカー6社からバイオテクノロジー周辺機器・試薬の研究開発について講演、実演展示が行なわれた。

大会第1日目は大会参加者全員による恒例のミキサ―（会員懇談会）が学生食堂において行われた。

テーブルには、賛助会員の寄贈による清酒、ビール、ウイスキー、ワイン、ジュース、コーラなどの飲み物やお菓子、チョコ、チーズなどのおつまみが盛り沢山に並べられ、午後7時過ぎまで和やかに懇談した。

昭和62年度 第1回編集委員会議事録

- 1 日 時 昭和62年11月3日(火) 12時～13時
- 2 場 所 さわらび会議室(大阪大学吹田キャンパス・吹田市山田丘)
- 3 出席者 岡田弘輔, 駒形和男, 永井史郎, 中村以正, 大嶋泰治, 鈴木武夫, 杉倉辰六郎, 外村健三, 山田靖宙,
(編集理事) 今中忠行
(編集幹事) 原島 俊, 熊谷英彦, 室岡義勝, 塩谷捨明, 田中秀夫, 土戸哲明
- 4 議事の経過および結果
昭和62年度上半期編集状況報告について
今中忠行編集理事は, 資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。
英文誌(J. Ferment. Technol.)を月刊誌に改正する件
今中忠行編集理事は, 英文誌を隔月刊行から毎月刊行に改めることについて, 英文誌の国際的評価が高まっていること, 投稿論文の早期掲載, 会員とく

に海外購読会員の増大が見込めること, などにより1989年から毎月刊行にしたいと提案理由を説明した。

この提案に対し, 編集幹事などのスタッフの補充および印刷費など経費増の対応について質疑があった。これに対し岡田会長は, 来年1年間の準備期間中に万全を期すこと, および経費増については1989年から若干の会費値上げを行なう予定であると答え, 一同これを了承した。

投稿規約の改正について

今中理事は, 投稿規約の改正について, 資料にもとづいて説明した結果, 原案通り承認され来年1月から適用されることになった。

その他

今中理事は, トピックス委員10名およびトピックス幹事1名の委嘱についておよび5年ごとに改めている学会誌の表紙のデザインを, 1989年に変更することの2点を提案し, いずれも承認された。

昭和62年度 第3回理事会議事録

- 1 日 時 昭和62年11月4日(水) 12時～13時
- 2 場 所 さわらび会議室(大阪大学吹田キャンパス・吹田市山田丘)
- 3 出席者 岡田弘輔, 中尾義雄, 戸田 清, 藤尾雄策, 今中忠行, 小林 猛, 小崎道雄, 熊田順一, 栗山一秀, 永井忠郎, 大嶋泰治, 佐藤昭雄, 左右田健次, 鈴木武夫, 高橋穰二, 山田靖宙, 吉田文彦, 吉沢 淑
(監事) 竹村成三, 外村健三
- 4 議事の経過および結果
昭和62年度上半期事業報告について
1) 庶務関係 大嶋泰治庶務担当理事は, 資料にもとづいて事業, 会議開催状況および会員異動状況について報告した。
2) 編集報告 今中忠行編集理事は, 資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。また, 昭和63年度のトピックス委員10名およびトピックス幹事1名を編集委員会の承認

を得て委嘱したことを報告した。

- 3) 会計関係 山田靖宙会計担当理事は, 資料にもとづいて本年4月1日から9月30日までの収入, 支出についておおむね順調であると報告した。
英文誌(J. Ferment. Technol.)を月刊誌に改定する件

岡田会長は, 英文誌を隔月刊行から毎月刊行に改めることについて, 英文誌の国際的評価が高まっていること, 投稿論文の早期掲載, 会員とくに海外購読会員の増大が見込めること, などにより1989年から毎月刊行にしたいと提案理由を説明した。また, 毎月刊行に伴い印刷費および編集関係の人件費など, 経費増については, 若干の会費値上げをお願いしたいと併せて提案した。

以上の提案にもとづいて協議した結果, 原案通り1989年から実施することを承認した。なお, 会費の値上げについての具体案については次回の理事会, 評議員会および総会に諮る事にした。

日本学術会議「研究連絡委員会」の決定ならびに第14期会員候補者および推薦人の選出に関する件岡田会長は、①研究連絡委員会に「生物工学」および「化学工学」の2分野を申請すること。②2分野の会員候補者推薦人として岡田会長および戸田副会長をあてること。③会員候補者については、まず常任理事に相談した後、理事各位の承認を得ること。以上の提案について協議した結果、原案通り承認された。

昭和63年度大会の開催について

大嶋庶務担当理事は、昭和63年度の大会会場候補として大阪国際交流センター（大阪市）をあげ、講

演会場数、展示会場および参加者収容能力などについて説明した。一方、この会場は前払い制になっており、会場費約300万円の支出については、会員名簿積立金などを取りこわして充当したいとのべ、各位の意向を伺ったところ、全員賛成したので、昭和63年度大会会場に決定した。

その他

黒木事務局長から正会員101名、学生会員56名および団体会員5社の入会申請が提出され、検討した結果、全員の入会を承認した。

また、昨日開催した編集委員会の決定事項について報告した。

昭和62年度 第1回評議員会議事録

- 1 日 時 昭和62年11月5日（木）12～13時
- 2 場 所 さわらび会議室（大阪大学吹田キャンパス・吹田市山田丘）
- 3 出席者 評議員 遠藤滋俊氏 他22名
監 事 外村健三氏
陪席者 岡田弘輔氏 他5名
- 4 議事の経過および結果

黒木事務局長は、評議員の定足数を確認した後、議長の選出について諮ったところ、福田秀雄氏を全員一致で選出した。続いて議長および会長の挨拶があり議事に入った。

昭和62年度上半期事業報告について

- 1) 庶務関係 大嶋泰治庶務担当理事は、資料にもとづいて事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- 2) 編集関係 今中忠行編集理事は、資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。また、昭和63年度のトピックス委員10名およびトピックス幹事1名を委嘱したことを報告した。

- 3) 会計関係 山田靖宙会計担当理事は、資料にもとづいて本年4月1日から9月30日までの収入・支出について、おおむね順調であると報告した。
- 4) その他 岡田会長は、編集委員会および理事会で決定された事項について報告した。
英文誌 (J. Ferment. Technol.) を月刊誌に改定する件

岡田会長は、英文誌を隔月刊行から毎月刊行に改めることについて、英文誌が国際的に評価が高まっていること、投稿論文の早期掲載、会員とくに海外購読会員の増大が見込めることなどにより、1989年から毎月刊行にしたいと提案理由を説明した。また、毎月刊行に伴い印刷費および編集関係の人件費など、経費増については、若干の会費値上げをお願いしたいと併せて提案した。

以上の提案にもとづいて協議した結果、原案通り1989年から実施することを決定した。なお、会費値上げの具体案については次回の理事会、評議員会および総会に諮ることにした。